

# 亀岡市佛教会 会報

第 36 号

亀岡市佛教会  
令和5年  
7月15日 発行

## 令和五年度 総会 開催

令和5年6月11日(日)に千代川町 嶺松寺を会場に本年度の総会が開催されました。

コロナ禍において、書面開催が続いていましたが、コロナ感染症の第五類への移行を受け、4年ぶりの通常開催となりました。総会に先立ち、組長会を開催。議案等を審議しました。引き続き開かれた総会では、すべての議案が可決されました。

本年度は役員改選の年にあたり、新たに 曹洞宗 真福寺 満林晃典 師が会長に選任されました。なお、新役員は下記のとおりです。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

また、令和3年よりご尽力いただきました伊藤和光 前会長には、コロナ禍の大変厳しい状況下ではありましたが、諸事万端にお勤めいただき、当会を牽引いただきました。最後の移動仏教講座では、会員の他、檀信徒を含め多くの参加があり、盛会裡に行われました。会長をはじめ役員、理事、組長各位に心より敬意を表し感謝を申し上げます。



久しぶりの通常開催となりました



梅雨の晴れ間、暑さの厳しい日でした

## 亀岡市佛教会 新役員

(任期二年 令和五〜六年)

会長 真福寺 満林晃典 (曹洞宗)

副会長 東光寺 寶積玄洋 (臨済宗妙心寺派)

同 西岸寺 漆葉龍信 (浄土宗)

同 昌寿院 大井龍樹 (曹洞宗)

会計 神蔵寺 松本義弘 (臨済宗妙心寺派)

庶務 苗秀寺 大谷教学 (曹洞宗)

庶務補 光忠寺 齋藤明秀 (浄土宗)

理事 極樂寺 平田秀範 (浄土宗)

同 延福寺 松下暢樹 (真宗大谷派)

同 金輪寺 尾澤淳成 (真言宗智山派)

同 東光寺 松岡宗春 (臨済宗興聖寺派)

監事 嶺松寺 伊藤和光 (浄土宗)

同 無量寺 平田慶修 (浄土宗)

### 組長

・ 稱名寺 和田真宜 ・ 本門寺 豊島正隆

・ 宝泉寺 吉野克敏 ・ 金輪寺 尾澤義成

・ 西光寺 高野無涯 ・ 無量寺 平田慶修

・ 積善寺 大野俊雄 ・ 光福寺 田中浄男

・ 耕雲寺 鷺坂示寛 ・ 清現寺 羽根田孝典

・ 長林寺 中野弘基 ・ 極樂寺 大谷真仁

・ 金輪寺 加来廣久 (順不同・敬称略)

## 令和五年度 主な事業計画

### 【前年度の継続事業】

- ① 三仏忌の厳修
- ② 会報発行
- ③ 「ヒューマンフェスタ」で佛教会ブース運営
- ④ 移動仏教講座の開催
- ⑤ 追悼式や慰霊祭への隋喜参加
- ⑥ 各種協議会・団体への協力 等

### 【新たな取り組み】

- ① 災害時に、寺院や佛教会が行政や地域と連携をはかる仕組みづくり。災害時に地域の核として寺院にできる事柄を模索し検討する。  
(具体案) 防災協定や災害協定を締結  
(具体案) お寺をつかった防災教育イベントの開催

- ② 令和7年に第二次世界大戦終戦80年を迎えます。平成27年に全日本仏教会で「非戦決議」がなされました。節目の年に迎えるにあたり、あらためて「非戦の誓い」を確認します。

\*詳しくは総会資料を( )参照ください

## 亀岡市と防災・災害に関する

### 取り組みについて協議



桂川市長と意見を交わす

去る6月26日(月)亀岡市役所において、桂川孝裕市長と防災・災害に関する取り組みについて協議を行いました。担当課の職員の同席のもと、満林会長より取り組みへの思いと、その趣旨が説明されました。

近年、さまざまな災害が多発し、甚大な被害が出ています。亀岡市佛教会としても、万が一に備えた体制の構築が急務です。各寺院、地域によ

て事情はさまざまで、できることも異なります。そのことを踏まえたうえで、佛教会として、できることから始めたいと考えています。

今回の協議で、具体的には未定ですが、亀岡市と災害協定の締結も視野にいれて、取り組みを検討していくことになりました。

皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

## 文化財補助金等について

今年度総会の際に、亀岡市教育委員会 歴史文化財課より、文化財補助金についての説明が行われました。亀岡市としても寺院をはじめ、仏像など貴重な文化財の保全を重要と考え、サポートをしていきたいとのこと。修理に対する補助金申請など、何かあればまずはご相談ください。

また、災害発生時の被害状況の迅速な把握のためにも、佛教会を窓口とした連絡体制の構築の必要性を説明されました。防災関連の取り組みとしてこちらも検討していきたいと思えます。

まもなくお盆がやってまいります。施餓鬼・暮経・棚経・地藏盆：お寺は忙しく、我々は大変な季節ですが、大切な役目。暑さに負けずお勤めしてまいります。(龍)